

平成 29 年秋期 富岡第二地区推進連絡会要旨

1 日時

平成 29 年 11 月 17 日 (金) 18:00～20:00

2 場所

富岡会館

3 参加者

(地域側) 自治会等地域団体関係	20名
学校関係	4名
商店街	1名
(支援チーム、その他行政側)	
区役所	13名
区社会福祉協議会、地域ケアプラザ	4名

4 意見交換要旨

(1) 第 3 期地域福祉保健計画 (H28～H32) の活動状況と課題

以下の 3 点についてパワーポイントを用いての発表があった。

①富岡サロン「ジュピのえんがわ」

(発表：ジュピのえんがわ代表)

昨年 3 月にスタートし、1 年半以上経った。様々なイベント(富岡東中 茶道部、マンドリン、パン・野菜販売、スリーA、パソコン教室等々)を実施している。

賛助会員(個人 80 人、団体 15)に支えられている。

つながりステーションとなり、いきいきフェスタにも参加した。

今後、富岡東地域ケアプラザと相談し、「ちょこっとお助け隊」が編成できないか検討中

(意見交換)

・野菜はどこから仕入れているのか。

→主に氷取沢に畑を持つ方から仕入れているが、足りないものは南部市場から仕入れている。

・住宅地にあるので、「子どもの声がうるさい。」という苦情で長くは続かないと思っていた。しかし、町内会をはじめ地域の方々に働きかけてきたことで現在も続いているので、すごいなと感じている。

・子どもの絵を飾ってもらっているので、中学生の絵も飾ってほしい。

②とみにスリーAサロン(&ロバの会)

(発表：地区社協事務局長)

会館(36名)と、ジュピ(23名)で実施。男性参加者が少ない事、参加者の固定化が問題。PRをしていきたい。

また、ロバの会では、認知症サポーター講座を実施。富岡小2年生、並木一小4年生、富岡東中3年生、市大医学部看護学生2年生向けに実施している。今後は、高校や企業、地域へPRしたい。

(意見交換)

- ・スリーAサロンは富岡会館とジュピのえんがわで開催されているが、富岡南部町内会の山側に会場があれば良いと思っている。
- ・65歳を過ぎた方が自分は認知症にはならない、という認識のため参加してこない。PRの仕方を地区社協で議論していこうと思っている。
- ・認知症体験と言う面では富岡東地域ケアプラザで実施したVR(仮想現実)が良かった(高額だが)
- ・市ではどんな高齢者/認知症対策をしているのか→CPに地域支援Co.を置くなど、地域と一緒に取り組み体制を構築している。
- ・商店会では、今年度中にロバの会の認知症サポーター養成講座を受けようと考えている。

③とみにウォークラリー大会

(発表：青指会長)

異世代交流として、過去にはミカン狩り、ボウリングを実施していたが、リニューアルした。

昨年度は158人参加、スタッフ57人、今回は214人参加、スタッフ64人で、参加者が増えている。交差点もあるので、注意して実施している。

(意見交換)

- ・全員が戻ってくるまで抽選会ができないので、どのように間を持たすかが課題である。
- ・ジュピのえんがわでゼリーを配るタイミングが良かった。
- ・歩くことによって発見することが多く、楽しかった。
- ・私は豚汁係だったが、次は作るよりウォークラリーに参加したい。
- ・30秒おきにスタートしているが、長すぎるのではないか。
→昨年は15秒おきにスタートしたが、第一チェックポイント(六地藏)で参加者が滞留したので、30秒おきにした。第一チェックポイントを離れ

た場所に設置することを考えている。(→受付後、即出発しても良いのではないか) また、コース(距離)を伸ばすとスタッフが増えることが課題である。

- ・H30は11/4(日)で検討中(11/3にはこだわらない)
- ・ゴール後、公園にシートを敷いておいても良かったのではないかと。

(2) 地域課題についての意見交換

- ・来年度の運動会は、幼稚園や保育園の運動会が集中する体育の日を含めた3連休の次の週での開催を予定している。
- ・今年度上半期の事業については、ゆりかご、かもめ体操、ころころの参加者が増加している。これらは呼びかけが功を奏したものだ。
- ・グラウンドゴルフ(長浜公園)にぜひ参加を(第1水曜、第3木曜)
- ・餅つきの規制は何とかならないか→生活衛生課への申請は出してほしい
- ・道路の陥没箇所を直してほしい。